

戦争のない世界を願って・・・6年生 修学旅行

6年生は4月以降、修学旅行に向けて戦争や、原爆などについて自分たちで調べたり、被爆体験を聞かせていただいたりして学んできました。



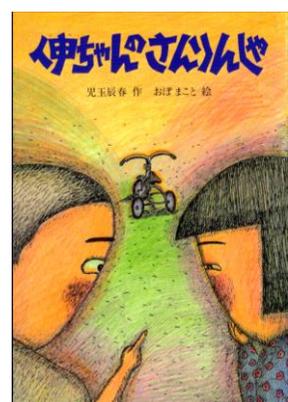
原爆被害者の会の伊達さん
(左)と高橋さん

<原爆で母と姉を亡くされた伊達昭夫さんからのメッセージ>

日本や世界のみんなが仲良くし、思いやりをもって過ごせば戦争はなくなります。みなさんは、両親からもらった命を大切に生きてほしい。広島、長崎を最後の被爆地にしてほしいです…

<長崎で被爆した高橋正彦さんからのメッセージ>

あちこちで死体を焼くやぐらが作られていました。私が目をそらすと母に「ちゃんと見ておきなさい」と叱られました。目に焼きつけて平和を大切にすることに育ってほしい、という教えだったのだと思います。平和は与えられるものではなく、自分たちでつくるものなのです。



「おりづる集会」で思いを一つに…

5月21日の「おりづる集会」では6年生が1～5年生に「伸ちゃんのさんりんしゃ」の絵本を読み聞かせてくれました。全校児童が協力して折った、おりづるの作品を紹介した後、「おりづる」を全員で歌いました。刀根山小全体で平和への思いを一つにした6年生は、その2日後に、広島への修学旅行へと旅立ちました。

修学旅行で学んだことを学年の姿で伝えてほしい…

平和記念公園へと到着した6年生は、最初に目に入る「原爆ドーム」の姿に心を奪われたようです。原爆の子の像の前でのセレモニーや原爆資料館、公園内のモニュメントなどから感じたことを、さらには修学旅行全体を通して体験したことや学んだことを、これからの学校生活の中の学年の姿で、ぜひ伝えてほしいと思います。「修学旅行をきっかけにぐっと仲良くなった。まとまった。」と実感できる学年をつくっていきましょう。



修学旅行の思い出…



アツアツの広島焼きに大満足!



路面電車で平和記念公園へ



おみやげ買うのも楽しみの一つです!



バイキングの夕食、朝食は大好評でした



美しい海にこぎだすカッター体験



手作りたみは素敵なおみやげになりました

自分の命を守るために…

最近傷ましい事故や事件が相次いでいます。いくら気をつけていても防ぎようのない出来事に心が痛みます。しかし、気をつけていたら被害を防げる出来事もあります。そのためにも、地域やおとなの見守りを引き続きお願いとするとともに、子ども自身にも以下のことに気をつけるよう改めてお話しいただけたらと思います(川崎の事件後、豊中警察には通学時間帯に見守り活動をしていただいています)。学校でも今後交通安全教室や2回目の防犯避難訓練等を通じ、伝えてまいります。

<交通事故から身を守るために…>

- ・青信号でも左右を気にして渡ろう。(曲がってくる車などがあります)
- ・信号待ちをするときは、車道から少し離れたところで待とう。鉄の柵や電柱などがあれば、その後ろにいるほうが安全です。
- ・道いっぱい広がって歩くのは危険ですし、迷惑にもなります。道の端を歩こう。
- ・友だちとふざけながら歩いたり、急に走りたりするのはやめよう。
- ・自転車のスピードの出すぎや、速度を落とさず四ツ辻をつっきるのは大変危険です。

<不審者から身を守るために…>



先週1年生が教えてもらった「いかのおすし」です。また、防犯避難訓練(5/20)の時に豊中警察の方にお話しいただいた「5つの約束」は裏面に掲載しました。